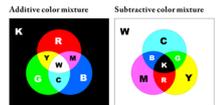
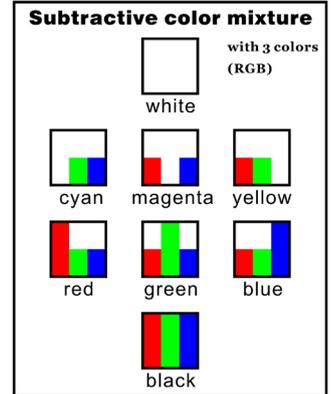
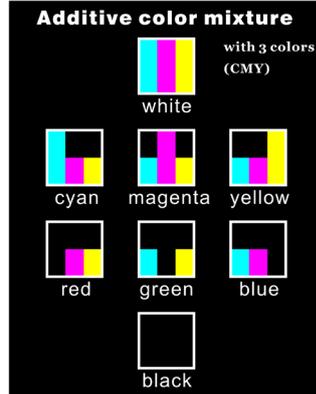
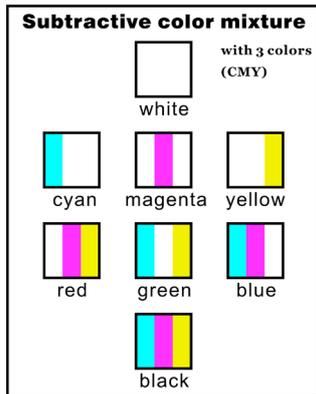
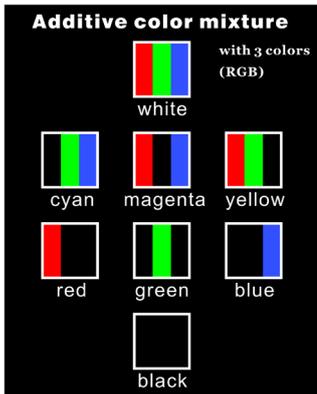


RGB を原色とする減法混色と CMY を原色とする加法混色

北岡明佳(立命館大学総合心理学部)



並置混色においても加法混色と減法混色は区別でき、加法混色の原色は RGB(赤・緑・青)、減法混色の原色は CMY(シアン・マゼンタ・イエロー)である。本研究においては、減法混色の原色としてRGBを、加法混色の原色としてCMYを用いる新しいアルゴリズムを報告する。これらの新旧の並置混色から生成される新しい明るさの錯視を紹介し、その意義を考察する。

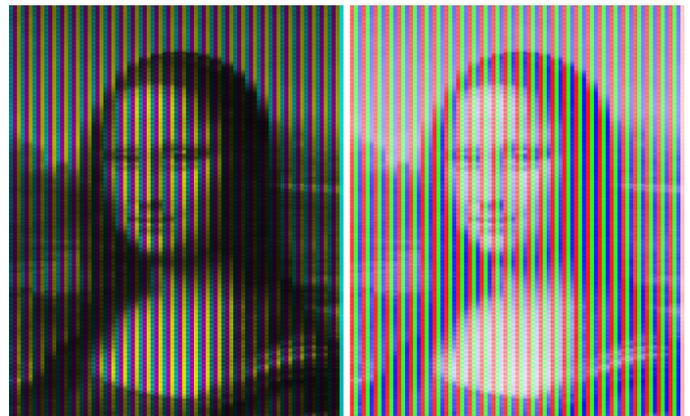


並置混色 (左は RGB 加法混色、右は CMY 減法混色)

並置混色 (左は CMY 加法混色、右は RGB 減法混色) **new!**



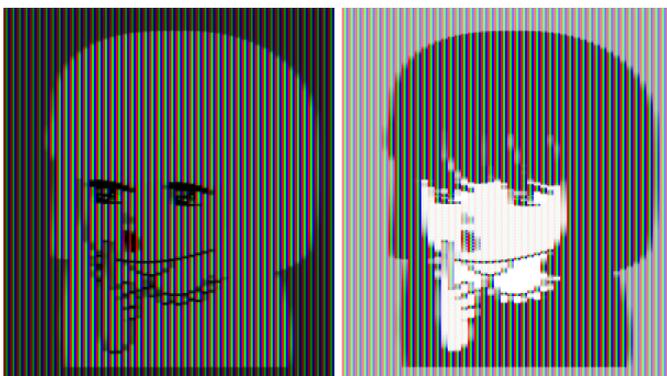
RGB 加法混色 (左) と CMY 減法混色 (右) のモナリザ



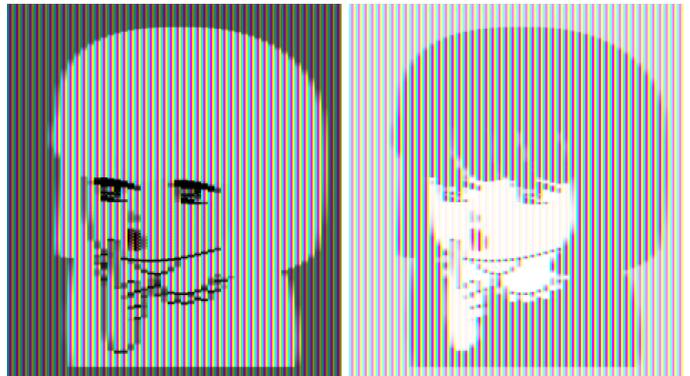
CMY 加法混色 (左) と RGB 減法混色 (右) のモナリザ **new!**



【開巻された錯視図形】



左は RGB 加法混色 (従来型)、右は RGB 減法混色 (**new!**)。



左は CMY 加法混色 (**new!**)、右は CMY 減法混色 (従来型)。

左の画像の髪と服は白く見え、右の画像では黒く見えるが、いずれも同一の RGB の縞である。

左の画像の髪と服は白く見え、右の画像では黒く見えるが、いずれも同一の CMY の縞である。